

「心のノート」の世界を広げる ファイルをつくってみよう

冊子版だけでなく、Web版の「心のノート」を上手に活用することで、以下のような取組を行うこともできる。

● 「心のファイル」(仮称)をつくってみると…

☆学習の記録が整理できる

「心のノート」だけでなく、学習カードや資料など、学習で使用した教材やカードをファイリングしていく。ファイルを見ると、一年間を通して、子どもがどんな学びをしてきたのか、いつでも振り返ることができる。子どもの個性を生かしたファイルを作成することで、継続的・発展的な活用への意欲を高めていきたい。(参考 P.24)

☆子どもの考えの記録ができる

授業で活用されていく「心のノート」には、子どもの考えや大切にしたいことなどが、子どもの言葉で記されていく。そんな「心のノート」をファイルにまとめていくことで、子どもの考えの記録が積み重なっていく。ファイルを見返したとき、子どもは以前と現在の自分を比べたり、成長を実感したりと、自分の心をさらに見つめていけるようにしたい。

☆教師と子どもの交流の場として活用できる

教師が、子ども一人一人のファイルを読むことで子どもへの理解をさらに深めたり、教師からのコメントを通して子どもを励ましたり、教師と子どもが、ファイルを通してじっくりと向き合い、相互の理解を深めていくことにも生かせる。

☆家庭と学校をつないだ活動ができる

子どもの思いや考え、学びをまとめたファイルは、家庭との連携にも生かせる。「心のノート」には、保護者が書くページもある。そうしたページを主として、子どもと保護者の考えを交流することで、学校での教育と家庭との連携が図られ、相互のつながりをより強くすることができる。(参考 P.96)



ファイルの名前は子どもが自分で決めるなど、主体的な活用を考えたい。

学習カードや資料が、いつもばらばらになってしまうけど、一つにまとめることもできるね!



ぼくだけの思いが詰まった宝物になったよ。

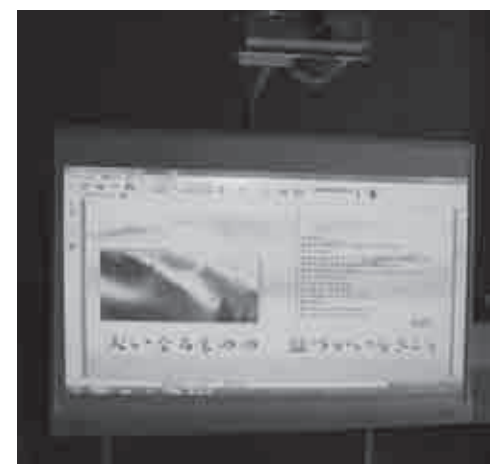
このようなファイルを作る際には、例えば以下の点に留意したい。

- ・ ファイルの趣旨を子どもに伝え、子ども自らによる活用を促す。
- ・ できばえや文量の競争とならないようにし、個性的な使い方も大切にする。
- ・ ファイルを作る学級間の教師での共通理解を丁寧に図る。 など

● 「心のノート」Web版の活用方法

◆ 子どもの記録にする活用例

必要なページをダウンロードして印刷、子どもに配布し、資料と共にファイリングしていくことで、子どもの学びの記録になっていく。教師は、その都度配布するので学年による重なりなどを心配することなく活用することができるなど、子どもや学級の実態等に合わせた活用方法が考えられる。



ウェブから直接ダウンロードすることができ、電子黒板や大型テレビに映して使用することもできる。また、拡大連写印刷をすると、簡単に掲示資料が作成できる。

「心のノート」には、美しい写真や印象的な絵が多く掲載されている。その美しさを大きく提示することで、子どもが学習へのイメージを広げることにもつながると考えられる。

さらに、コンピュータ室などで活用して、全員が個人で「心のノート」を保存したり、自分なりに整理したりと、情報機器を用いた使用方法も考えられる。

◆ 教員が活用しやすい環境をつくる

例えば担当者が一括して「心のノート」をダウンロードしておき、「心のノート」コーナーを設け、各学年、学級で印刷することも考えられる。

年間指導計画に沿って、各教員が工夫しながら授業ができるよう、「心のノート」を活用するための環境づくりも重要である。

